

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	環境と社会 (Environment and Society) 2013013-038					担当教員	西俣先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
環境問題の知識を身につけることを目的とする。環境問題の知識を得ることは、自分の生活や人間の経済活動が環境に及ぼす影響を理解することにつながる。本授業では、主要な環境問題の実態についての知識、および、課題や対策について考える力を身につける。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／情報収集・分析能力
③ 授業の進め方・指示事項
必要に応じてプリントを配布する。授業内容を理解しやすくするために映像等も利用する。授業中に 出題した課題の提出期限を守ること（提出期限を過ぎたものは受け取らない）。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 主要な環境問題を理解するための基礎的知識を身に着けることが理解できるようになる。 (ii) 主要な環境問題の実態について、他者に説明できるようになる。
⑥ テキスト（教科書）
東京商工会議所編著（2021）『改訂 8 版 環境社会検定試験 eco 検定公式テキスト』日本能率協会マネ ジメントセンター *改訂 9 版が出版された場合には、そちらを購入すること。
⑦ 参考図書・指定図書
参考ウェブサイト 環境省サイト『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』 http://www.env.go.jp/policy/hakusyo

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 主要な環境問題を理解するための基礎的知識を身に着けることが理解できるようになる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、教科書で取り上げた環境問題の事例の課題を解決するための提言ができる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例の課題について説明できる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例について説明できる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例について、教員の支援があれば説明できる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例について、教員の支援があっても説明できない。
(ii) 主要な環境問題の実態について、他者に説明できるようになる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景について、説明することができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		20%			10%		100%
(i) 主要な環境問題を理解するための基礎的知識を身に着けることが理解できるようになる。	50%		20%			5%		75%
(ii) 主要な環境問題の実態について、他者に説明できるようになる。	20%					5%		25%
フィードバックの方法	課題は総評を公表する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
引き続き、丁寧な解説と分かりやすい授業資料や映像の活用を行いたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10分
2	人間の活動の拡大と環境問題	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
3	人間活動の拡大を理解する エコロジカル・フットプリント	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
4	幅広く環境問題について知る 森林問題	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
5	幅広く環境問題について知る 砂漠化	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
6	典型7公害から 大気汚染の基礎知識	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
7	典型7公害から 大気汚染の歴史と対策	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
8	典型7公害から 水質汚濁の歴史と対策	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
9	水問題の現状と対策	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
10	都市化に伴う環境問題 ヒートアイランド現象を事例として	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
11	身近な環境問題 交通と環境問題	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
12	身近な環境問題 化学物質のリスクとリスク管理	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	90分
13	身近な環境問題 化学物質のリスク アスベスト問題を事例として	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
14	身近な環境問題（対策） 消費者と環境問題	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
15	まとめ	学んだ内容の再確認を行う。	90分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。コメントを提出してもらい、コメント内容を利用する形で授業を進めることがある。また、学生と問答をかわしながら授業を進める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性